

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約締結について

株式会社諸岡（代表取締役 CEO 諸岡 正美）はこのたび株式会社常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」（以下、「PIF」）契約を締結しましたので、お知らせします。なお、PIFによる資金調達当社は茨城県内で初となります。

PIFとは、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEPFI）が2017年1月に策定したSDGsの達成に向けた金融の枠組みであり、企業のSDGs達成に向けた貢献を開示し、金融機関等からそのプラスの影響（インパクト）を評価されて融資を受けることにより、さらなるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を増進させるものとされています。

当社は本件を通じて、事業活動から発現を目指す環境・社会・経済へのインパクトに対するコミットメントを「見える化」致しました。これらを一つ一つ達成していくことで自身のサステナビリティ経営の一層の強化を図り、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

インパクト評価の概要（詳細は別添「評価書」をご参照ください）

| ファイナンス形態 | | 社債の発行（常陽銀行寄贈サービス付私募債「社会貢献応援債」） | | |
|--------------|------|--|---|---|
| インパクト の評価 | 領域 | テーマ | 取組内容 | 関連するSDGs |
| | 社会環境 | 自然環境にやさしいものづくり | <ul style="list-style-type: none"> 全社的な環境マネジメント体制構築 再生可能エネルギーの利用促進 廃棄物リサイクル推進 |    |
| | 社会経済 | 生き活きと働くことができる職場環境の提供 | <ul style="list-style-type: none"> 「働き方」「休み方」の改善 労働環境の改善 従業員等の能力向上に対する支援 女性従業員の活躍促進 |     |
| | 経済 | 成長分野・市場への参入による地域経済への貢献 | <ul style="list-style-type: none"> 新興国での市場拡大 ICTを活用した新製品開発 アフターサービスの強化 |  |
| モニタリング | | 取組内容に対するKPIの進捗状況については、当社と常陽銀行が少なくとも年に1回共有し、その達成に向け協議してまいります。 | | |

本件PIFは株式会社常陽産業研究所（水戸市）の評価を受けており、またUNEPFIの策定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則への適合、および環境省のタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合していることについて、外部評価機関である日本格付研究所（JCR）から第三者意見を取得しています。 [【評価書PDF】](#)

※株式会社日本格付研究所のホームページ：<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>